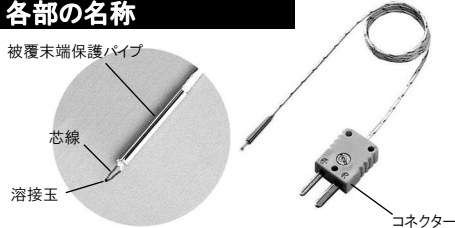


DT-510E

サーモカップル

このたびはホーザン DT-510E サーモカップルをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。また、お読みになったあと大切に保管してください。

各部の名称



仕様

規格	JIS 熱電対K クラス2(旧0.75級)準拠
測定範囲	-40～760℃(但し過熱使用限度)
精度	測定温度の±0.75%か±2.5℃の大きい方
線径	0.1±0.08mmφ
リード長さ	500mm(コネクタ含む)
被覆耐熱	250℃

1

ご使用方法

測定の手順はDT-510の取扱説明書をご覧ください。

注意

1. 先端溶接玉とガラス繊維被覆部との間の、線材が裸の部分で、線材同士が接触していないことをご確認のうえ測定してください。この部分で接触していると、正確な温度が計測されません。
2. 液中の温度測定には使用できません。
3. 被覆の耐熱温度は250℃です。被覆に直接熱を加えないでください。

先端溶接玉が取れてしまったとき

先端溶接玉が取れてしまったときは、熱変色した部分を切り捨て、精密ニッパーなどで外側の被覆をむきます。

2本の芯線それぞれの被覆をむくときは、根元を爪の先で押さえてピンセットなどで引っ張るようにしてください。

芯線の先端部分を、3～4回密によじて新たに接点を作れば、溶接玉のかわりとなります。よじった部分の、被覆に近い側が新たな測温点となります。



測温点



3

注意文の警告マークについて

この取扱説明書ではご使用上の注意事項を次のように区別しています。

⚠️ **警告**…重傷をともなう重大事故の発生を想定してのご注意

⚠️ **注意**…傷害や物的損害を想定してのご注意
なお、⚠️ **注意**として記載されていても、あるいは特に記述がなくても、状況によっては重大な結果をまねく恐れがあります。正しく安全にご使用ください。

ご使用上の注意

警告

熱電対線先端とその周辺は、測定中はもちろん、終了後もしばらくは高温になっています。手などを触れないでください。

注意

1. 線材の過熱使用限界温度は、760℃と高いですが、400～600℃の高温でご使用になる場合は、熱電対線の劣化は避けられません。消耗品とお考えください。
2. 先端溶接玉付け根部分に、手や工具で力を加えないでください。線材径0.1mmφと非常に細いので破損の原因となります。

ご使用方法

サーモカップルのコネクタをDT-510 デジタル温度計に接続し、熱電対先端をヒートシンクなどを使って固定します。先端溶接玉の位置が測温点になります。



2

ご使用方法

熱電対線が劣化した場合

熱電対線が劣化したと考えられるときは、溶接玉が取れたときと同じ手順で、あらたな接点を作ってご使用ください。



T4962772095157

16. 10

技術的なお問い合わせ

ホーザン テクニカルホットライン

☎ 06-6567-3132 E-mail: th@hozan.co.jp

【月曜日から金曜日(祝日を除く)の10:30～12:00・13:00～17:00】

補修部品については、web上のパーツリストをご覧ください。
通信販売もご利用いただけます。 **ホーザン 通信販売 検索**

ホーザン株式会社

本社 〒556-0021 大阪市浪速区幸町1-2-12
TEL(06)6567-3111 FAX(06)6562-0024

MADE IN JAPAN

4

07.07